



高校へ進学。 高校生になってからの勉強ってどんな感じなのかな？ 高校生になったら…

1

高校での科目

中学の 5 教科が細分化され、科目数が増えます。

英 語 コミュニケーション英語（主に長文読解）・英語表現（主に英文法）

ポイント☆ 英文法は、高校で学習するすべての項目の基礎を高 1 で学ぶので注意が必要です。

数 学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ

国 語 現代文・古文・漢文

理 科 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎・物理・化学・生物・地学

社 会 日本史・世界史・地理・政治経済・倫理・現代社会

※注意事項

自分自身の受験に必要な科目を、計画的に履修することが大切です。そのためには、早期に志望大学や志望学部を決めることをお勧めをします。また、文系・理系の選択や高 2 の科目選択は、ふつう高 1 の秋に行います。ただし、2018 年度の高 1 生は新入試初年の学年です。順次入試情報が公表されますので現在の入試では判断が難しくなります。

2

高校での学習

高校に入学後、勉強をしなくなる生徒が急増します。そうならないようにしっかりと備えましょう。

次の 2 点に注意することが重要です。

1 内容が高度になり、単純な暗記ではテストで点が取れなくなる。

ポイント☆ 考える・理解する習慣を身につけよう。丸暗記は ×。

ここが
重要事項

2 京都大でも、同志社大でも、近畿大でも、多くの大学の入試は内申点が 0 点。

ポイント☆ 定期テスト前だけではなく日々の勉強が大事。

3 2018 年度の高 1 生は新入試初年度です。従来より英語 4 技能重視、思考力、判断力、表現力重視になります。

それでは、項目毎に見てみましょう。

(1) 学校の授業

- ① 前述のように、中学に比べてはるかに高度な学習内容になります。そのため、一旦わからなくなると、もはや定期テスト前の急なつめこみ学習のような短期的な学習では対応しきれなくなります。
- ② 学校にもよりますが一部の教科は高 3 で履修した場合、入試までにすべての学習項目が終了しません。そのため、受験に必要な科目は高 2 で履修するようにしましょう。
- ③ 学校によっては、入試時期までに入試演習時間を確保できるように、かなり速い進度で授業を行います。そのため、受動的な学習では理解が不十分になりやすいため予習が大切になります。

(2) 定期テスト

- ① 前述のように、高校では指定校推薦入試や公募制推薦入試などの一部の入試を除き、学校の成績は高校入試の内申点のように入試に関わってくることはありません。また、最初から推薦を狙って定期テストのみの勉強をしていくことは一般入試に必要な学力がつきにくい点でお勧めできません。高校では実力をつけるための日々の学習がさらに重要になります。
- ② 定期考査前の短期集中型の学習では実力がほとんど伸びません。普段の学習を充実させることで、若干の定期考査前の学習のみで乗り切れるよう心がけましょう。

(3) 日々の学習

- ① 日々「予習」「復習」を大切にすることです。そうすることによって学校の授業をしっかりと受けることができます。
- ② 日々の学習時間の理想は「学年数+2 時間」と言われています。高 1 は毎日 3 時間学習となります。3 時間の確保が難しい場合は、「授業中の集中力を上げる」などの工夫が必要です。ポイントは「とにかく毎日コツコツ」です。毎日勉強をする習慣をつけましょう。
- ③ 3 年後の入試が、現在の入試と比較し、思考力、判断力、表現力重視になります。解き方を覚える勉強ではなく何故そうなるのかを考え理解する勉強を心がけましょう。

(4) 備えあれば憂いなし「現実をしっかりと見つめよう」

- ① 自分の学校の進学実績
- ② 自分の志望大学を受験する層（ライバル）
- ③ 継続的に学習することによってのみ伸びる学力
- ④ 部活の引退時期、学園祭・体育祭の時期

3**各教科の学習法例**

すべての教科について、自分で解けるまで、きっちりと覚えるまで、勉強することが重要です。

1 英語

- 長 文** 「予習型」…教科書の本文をノートに写すまたはコピーを取り貼り付け、和訳した状態で授業に臨む。
自主的に単語を覚える。(高 2 終了時まで最低 1500 個)
- 文 法** 「復習型」…授業で仕組みを理解する。その後、きっちりと繰り返し演習をかけて定着させる。
学校の文法のテキストに書いている内容はすべて頭に入れてしまうことが大切。
- その他** 知識を定着させるために、英文を音読することをお勧めします。

2 数学「復習型」

- ① 授業を理解するように聴く。
※今日、どういことを習うのか教科書を事前に読んで行くことで理解しやすい
- ② わからないところを放置せず、すぐに習得する。
※今、理解できていないことは先では取り返せない。
- ③ 受身では学習効果がほとんどない。
※能動的に「この 1 問をやってみよう」と解くことが大切。
- ④ 数学が得意な人 ⇒ 意外と反復練習が大切なことをしっかりと自覚する。(正確性と速さが重要)
数学が苦手な人 ⇒しっかりと理解をする習慣をつける。解法パターンの暗記は NG。

3 その他

「正しく文章を読み取る力」「語彙力」「内容が抽象的な文章への慣れ」がすべての教科に必要です。そのためには、「論理的に書かれた文章」「抽象度の高い文章」を普段から読むこと、読む習慣をつけることが大切です。

(例) ① 辞書に書いている日本語がわからない。② 訳したけれど、文章に書かれている内容がわからない。

③ 設問の意図（何を聞いているか）がわからない。など

- ① 古文…単語を覚える。文法を頭に入れる。文章を精読する。(基本的に英語の学習法と似ている)
- ② 理科…説明された内容を正しく理解する。(理科は暗記科目ではない)
- ③ 社会…語句を覚えた状態で授業に臨む。授業で流れをつかむ。「まとめのノート」を作成する。

